



平成20年5月16日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 な と り
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 名 取 三 郎
(コード番号 2922 東証第1部)
問 い 合 せ 先 取 締 役 上 席 執 行 役 員 小 林 眞
業 務 管 理 本 部 長
電 話 番 号 0 3 (5 3 9 0) 8 1 1 1

中期経営計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」について

なとりグループは、当事業年度である第61期(2009年3月期)から第63期(2011年3月期)までを対象期間とする3カ年中期経営計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

中期経営計画『イノベーション63』の目指すもの

なとりに与えられた資産を最大限に活用して収益力を強化し、顧客満足・株主満足・社会満足・社員満足を通して企業価値を向上させます。

経営戦略の基本を「イノベーション」に置き、少子高齢化の大きな流れの中で緩やかながらも安定的な成長を実現し、成熟型社会にふさわしい持続可能な企業基盤を構築し「新生なとりへの道」を切り開いてまいります。

日本人が今まで親しんできた味を尊重しつつも、従来の製造・味付けに留まらず当社の強みである加工技術を最大限に活かし、新たな形態や新たな食感を追求した新しい珍味の開発を進め、新しい需要をつくり出してまいります。

中期経営計画『イノベーション63』の骨子

1. 当グループを取り巻く環境

- ・ 少子高齢化を背景とした珍味顧客の高齢化や低年齢層の減少
- ・ 消費者ニーズの多様化による業種業態を超えた食品売場のボーダレス化
- ・ 新興国の躍進や経済のグローバル化がもたらす原材料高、原油高等による企業収益の圧迫
- ・ 食の安全・安心に対する社会的責任の重要性

2. 中期経営計画「イノベーション63」

なとりグループの経営理念は「自由闊達にして公正で節度ある企業活動により、食文化の創造と発展を通して、顧客満足・株主還元・社会貢献の実現を図り、社会的に価値ある企業として、この会社に係わるすべての人が誇りを持てる会社を目指す」であります。イノベーション63では、社員が共有すべき価値観・行動指針を「4つの満足」として明示いたしました。

【4つの満足】

常にお客様の視点に立って仕事をする(顧客満足)

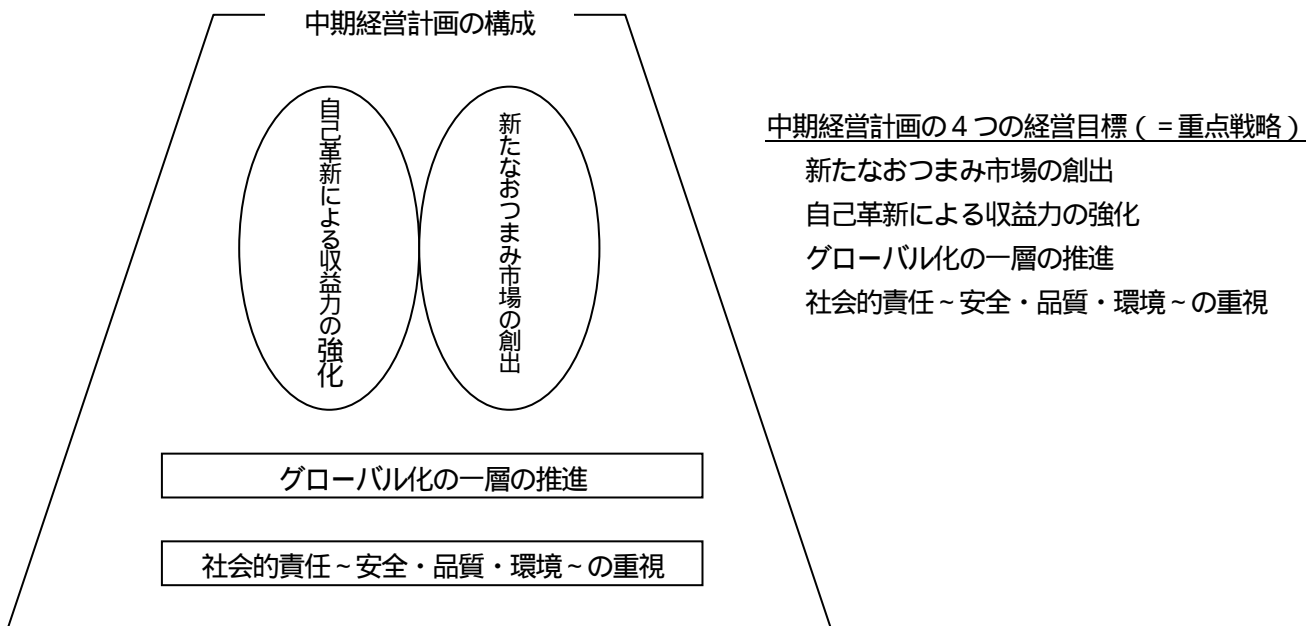
収益性の向上を背景とした株主還元の実現を図る(株主満足)

法令を守り環境に配慮し、安全安心を確保しつつ、おつまみ食文化の創造と発展に寄与する(社会満足)

なとりのモノづくりの伝統を守り、自己の可能性を最大限追求する(社員満足)

3. 経営目標 (= 重点戦略)

- (1) 新たなおつまみ市場の創出
 - ・ 2 カテゴリー 9 ジャンル毎の戦略に対応した新製品開発と新ジャンル開拓
 - ・ 研究開発力・リサーチ機能の強化による競争優位な製品の開発
- (2) 自己革新による収益力の強化
 - ・ チャンネル戦略に基づいた営業所の利益改善と営業戦力の効率的な配置
 - ・ 営業組織の枠を超えたチーム編成による対応力強化とPBの売上拡大による収益確保
 - ・ アイテム削減や配送センターの効率化
 - ・ 生産ラインの抜本的再構築による効率化と生産性の向上
 - ・ 管理機能の強化による収益力強化
- (3) グローバル化の一層の推進
 - ・ 販売の海外進出への布石
 - ・ 海外調達の見直し
 - ・ 海外委託生産の再編
- (4) 社会的責任～安全・品質・環境～の重視
 - ・ 内部統制の徹底
 - ・ 安全・安心への更なる推進
 - ・ 企業のリスク管理強化



4. 目標数値

	2008年3月期 (第60期実績)	2009年3月期 (第61期計画)	2010年3月期 (第62期計画)	2011年3月期 (第63期計画)
売上高	314億円	318億円	323億円	330億円
経常利益	9億円	11億円	12億円	14億円
経常利益率	2.9%	3.5%	3.8%	4.2%
ROE	3.6%	4.6%	4.9%	5.5%
設備投資額	16億円	22億円	27億円	11億円